

岸和田市立光明小学校 第145回創立記念日を迎えて

私たちの光明小学校は、5月14日に145回目の創立記念日を迎えます。明治6年に、和泉国南郡南掃守村尾生（いずみのくにみなみごおりみなみかもりむらおぶ）の浄念寺本堂を校舎として尾生小学校ができたことが始まりです。

明治13年には、浄念寺から中尾生の辻下嘉衛門さんのお家のひと部屋を借りて勉強することになりました。

このころの小学校は、1年から4年までの4年制でした。勉強した教科は、読本（本読みと読み取りの学習）、そろばん、作文、修身（人としての行いや礼儀について学ぶ科目）の4教科でした。1年生から4年生までがひとつの部屋で一緒に勉強していました。全校児童数は95名でした。

明治39年3月19日に現在の場所（尾生564番地）に校舎（3教室）が建ちました。3教室のほかに部屋がなかったので、いろいろな式の時などは、各教室の間仕切りを外して式場にしました。

その後、教室は建て増しされました。昭和11年には、鉄筋木造平屋建て3棟に建て替えられました。



昭和22年に学校の名前が現在の「岸和田市立光明小学校」となり、今と同じ6年制で、国語・算数・理科・社会などの授業が行われるようになりました。

昭和26年から学校給食が始まりましたが、調理員さんはおらず、子どもたちのお母さんが交代で作ってくれました。献立は、パン・脱脂粉乳（脂肪を取り除いた牛乳）としょうゆ味のおかずでした。



昭和38年、校歌（作詞：伊藤昇平、作曲：河内貞二）と校章が作られました。校章は子どもたちから募集し、南正子さんの作品が採用されました。

光明小学校は、平成30年度27学級、在校生は716名の大きな学校となりました。

145回の創立記念日を迎えるにあたり、これまでの長い歴史を知り、校区の方々やたくさんの卒業生が大切に築いてきた伝統をしっかりと受け継いでいきましょう。たくさんの先輩たちに負けないよう、楽しい学校を作りましょう。



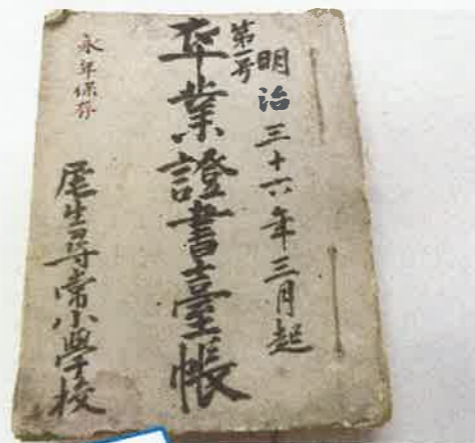
正門前「二宮金次郎」像



昭和15年ごろの正門



明治時代の教科書



一番古い卒業生台帳です。卒業した人の名前や生年月日が書かれています。平成30年3月末で、6117名の卒業者の名前が載っています。（一部記録のない期間があります。）みなさんも、卒業するときに、光明小学校の卒業生として、台帳に名前がのります。

昭和37年ごろの風景



昭和35年ごろの風景



昭和28年ごろの木造校舎



講堂 昭和48年ごろ  
(今の体育館の場所にありました)



歴代校長先生の写真

